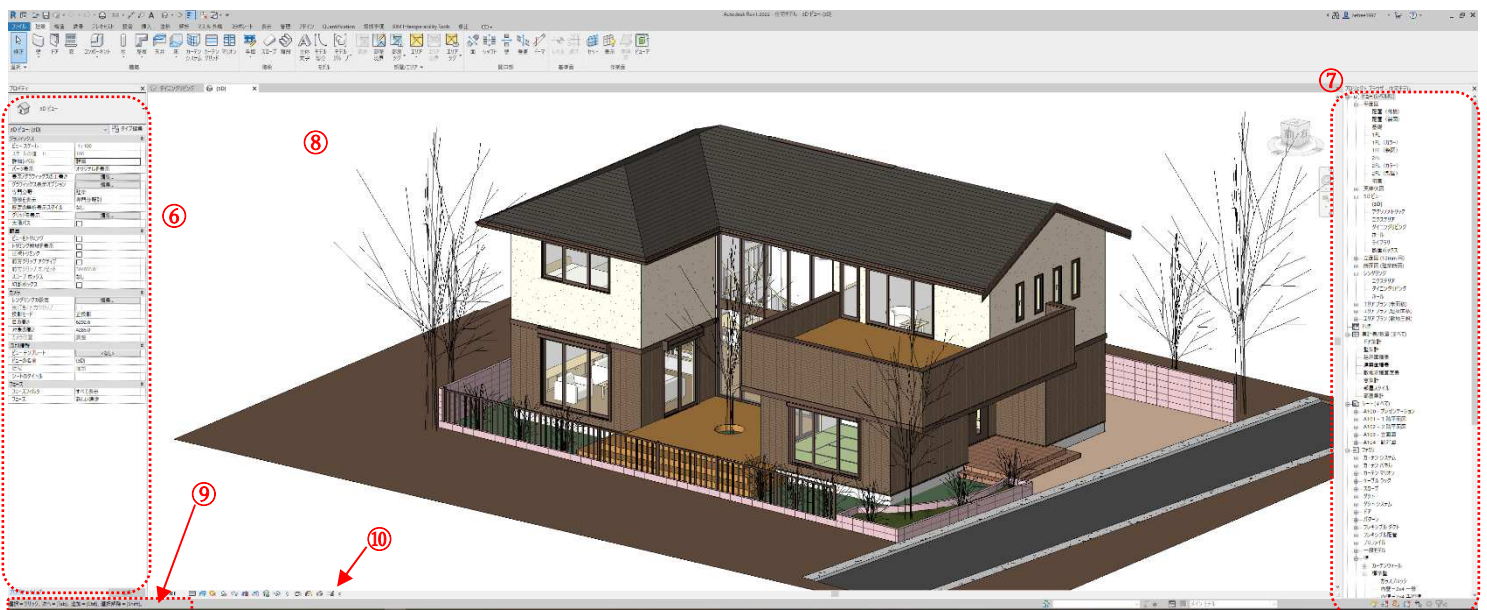
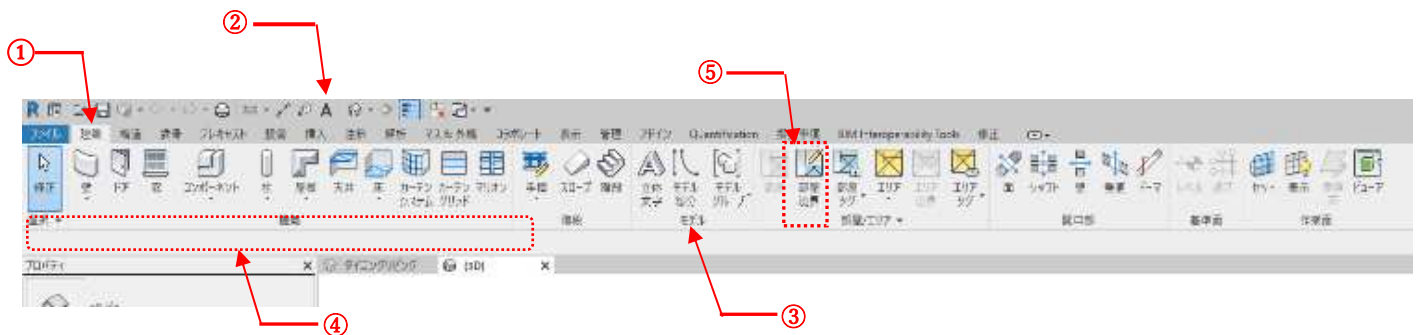


0. 画面と基本操作

0.1. ユーザーインターフェースの説明

0.1.1.

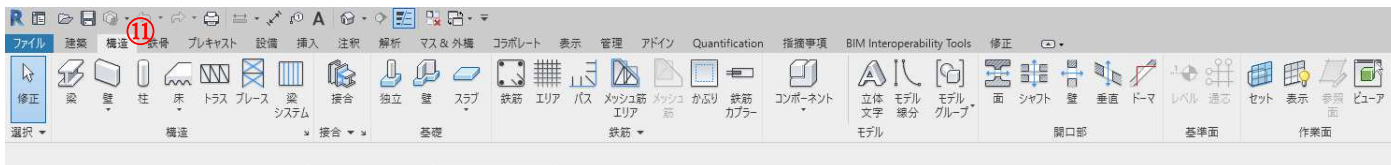
- ① タブ
- ② クイックアクセスツールバー
- ③ パネル
- ④ オプションバー
- ⑤ ツール
- ⑥ プロパティ
プロジェクトブラウザ
- ⑦ 作業ウィンドウ
- ⑧ ステータスバー
- ⑨ ビューコントロール



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

0.1.2. Autodesk Revit Full version に追加されるタブ

⑩ 構造タブ※RC 造他構造設計作業に使用



⑪ 鉄骨タブ※S 造設計時に使用



⑫ プレキャストタブ※PC 版設計の際に使用



⑬ 設備タブ※設備設計作業に使用



⑭ 解析タブ※構造解析・建物性能解析時に使用



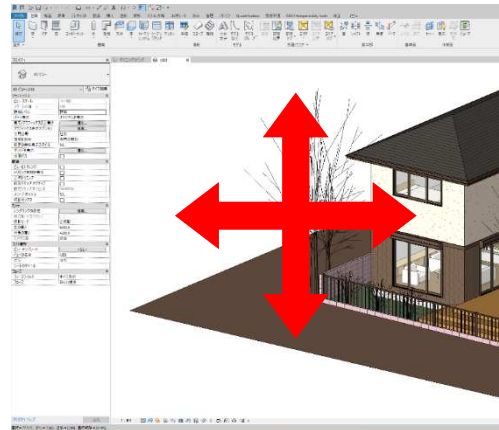
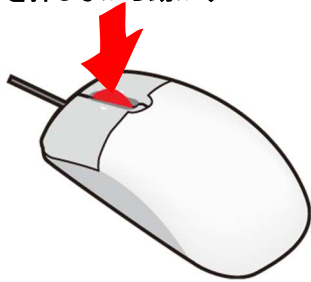
以上のように、Autodesk Revit と Autodesk Revit LT では作業範囲が大きく異なります。Autodesk Revit の場合、基本計画におけるマスボリュームによるスタディ作業から、建物解析、意匠設計・構造設計・設備設計全てに対応していますが、Autodesk Revit LT は意匠設計のみ特化して機能を限定しています。

(構造設計は一部対応可能)

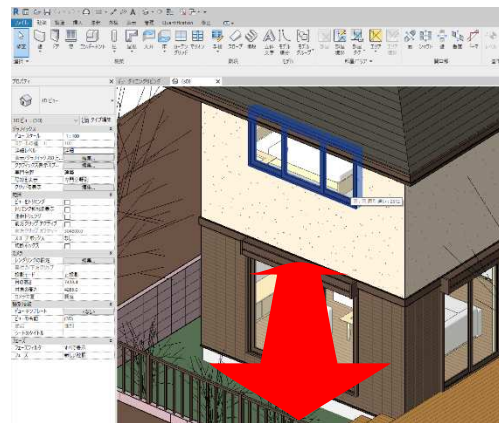
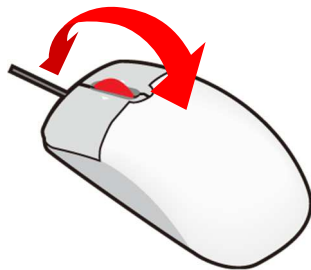
第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

0.2. マウスの操作方法

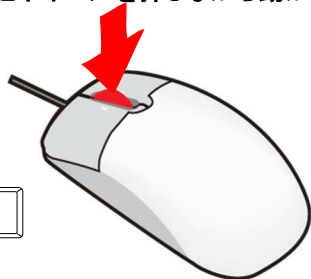
ホイールを押しながら動かす



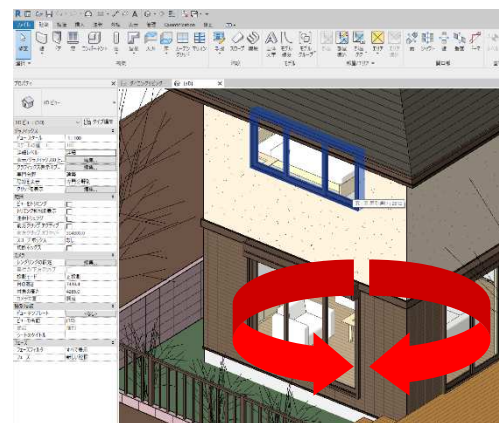
ホイールを回転させる



[Shift]キーとホイールを押しながら動かす

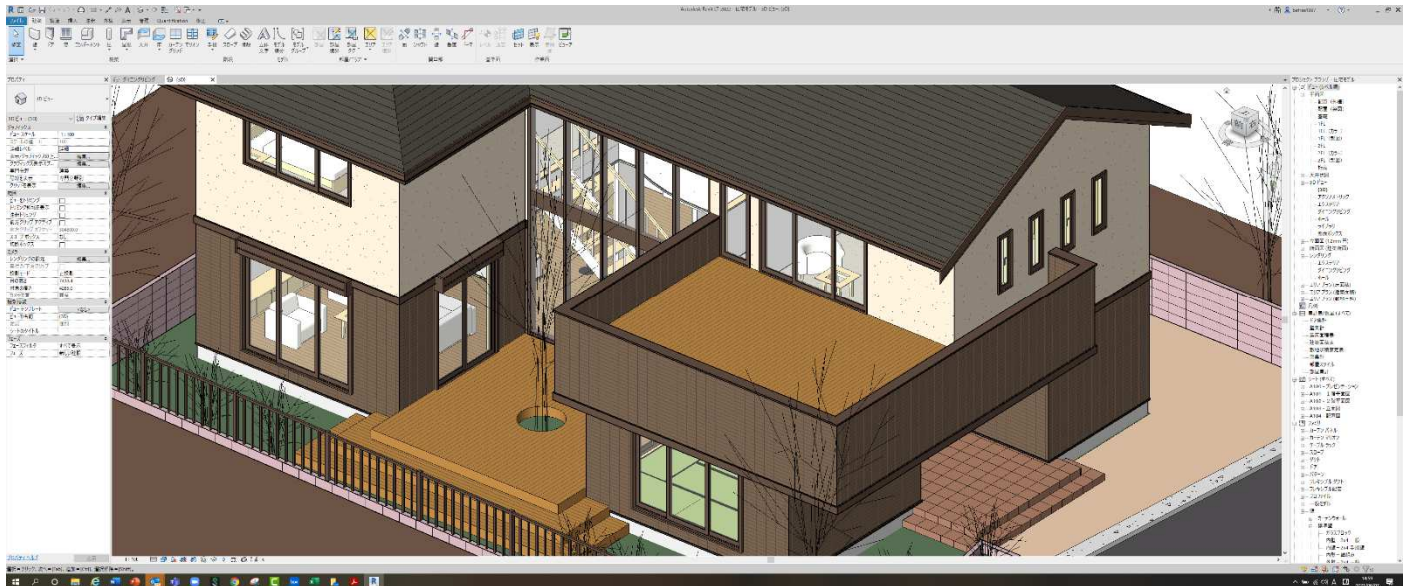
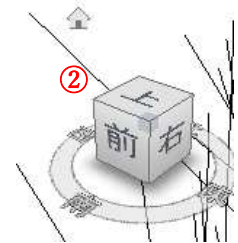
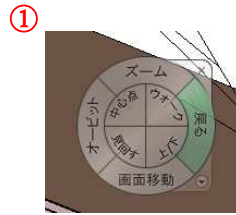


⇧ Shift



0.2.1. その他操作方法

- ① ステアリングホイール
 - ② ビューキューブ
- を利用して画面を操作することも可能です



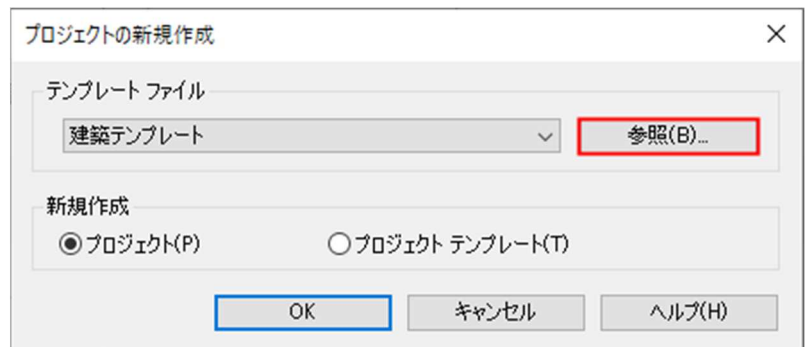
1. プロジェクトの開始

1.1. テンプレートファイルを使ったプロジェクトの新規作成

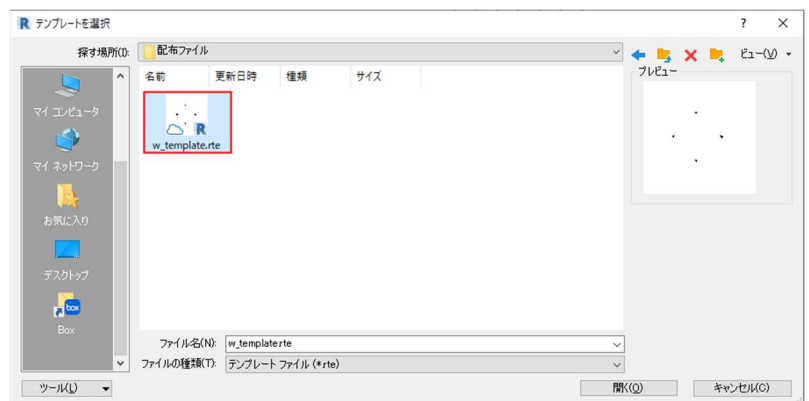
1.1.1. [プロジェクト]-[新規作成]をクリックする



1.1.2. [プロジェクトの新規作成]ダイアログで[参照]をクリックする



1.1.3. [テンプレートを選択]ダイアログで「配布ファイル」フォルダにある「w_template.rte」ファイルを選択し[開く]をクリックする

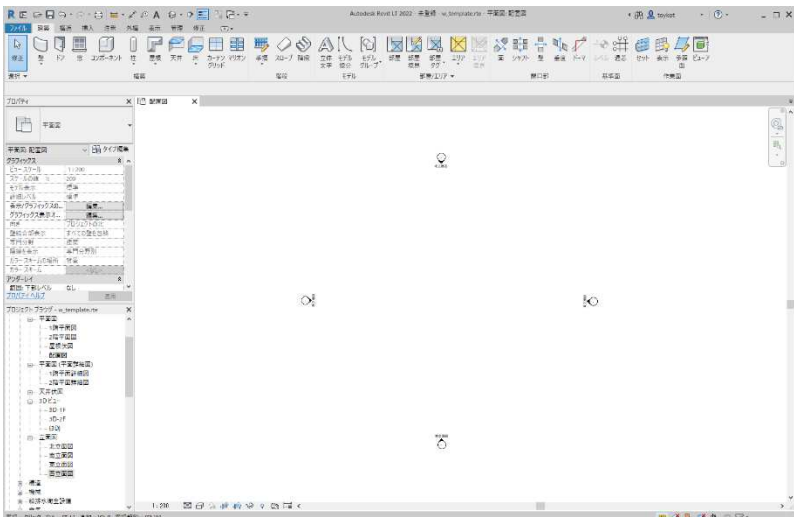


1.1.4. [プロジェクトの新規作成]ダイアログで「w_template.rte」が選択されていることを確認し [OK] をクリックする



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

1.1.5. 新しいプロジェクトが作成されます



1.1.6. [名前を付けて保存]-[プロジェクト]

を選択

任意の場所に名前を付けてファイル

を保存する



1.2. レベルの作成

1.2.1. 立面図ビューに切り替える

プロジェクトブラウザで[建築/立面

図/北立面図]ビューをダブルクリッ

クし切り替える



1.2.2. 階高を修正 (確認) する

それぞれのレベルラインをクリック

し、プロパティパレット[高さ]、も

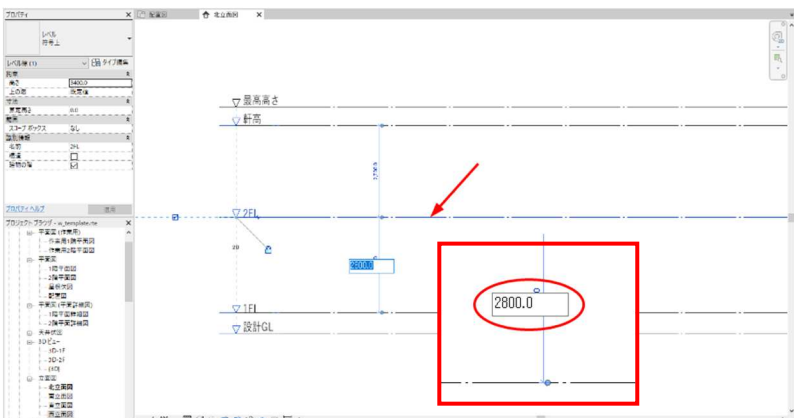
しくは図面上に表示される仮寸法に

て数値を確認、修正する

(テンプレートでは GL=±0、1FL

を GL+600、1FL~2FL を 2,800 と

しています)

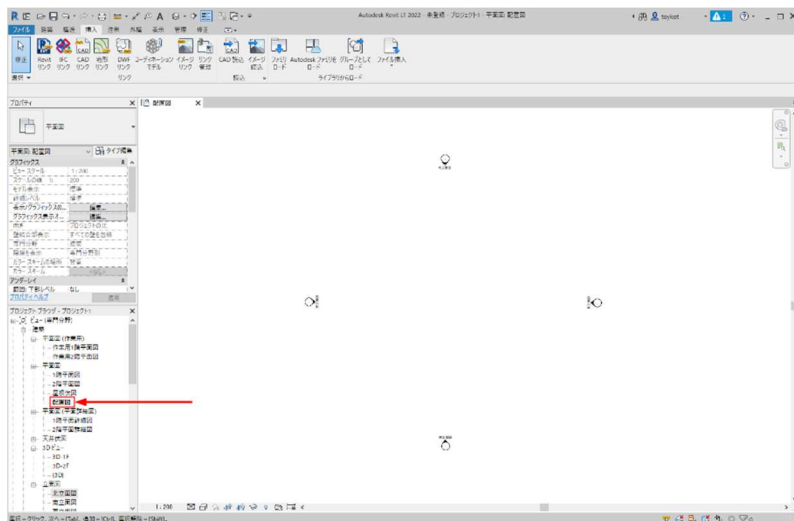


第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

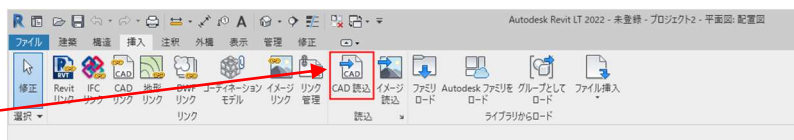
1.3. 敷地のモデリング

1.3.1. 敷地 CAD データの挿入

プロジェクトブラウザ[**建築/平面図**
/**配置図**]ビューに切り替える

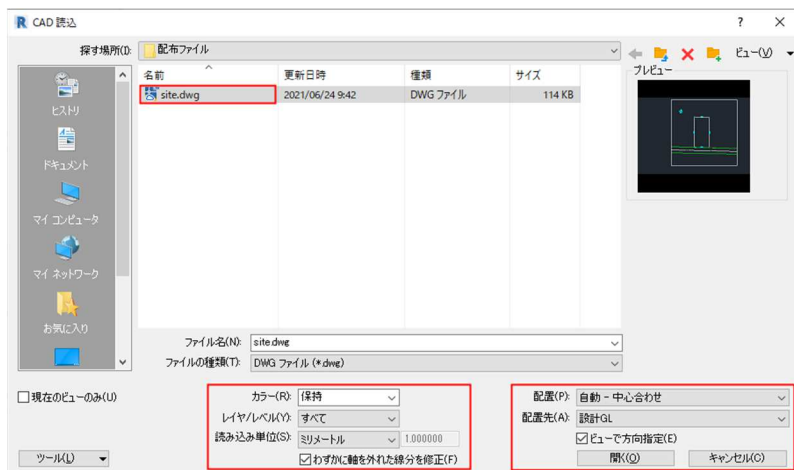


1.3.2. [挿入]タブ-[読込]パネル-[CAD 読込]をクリックする

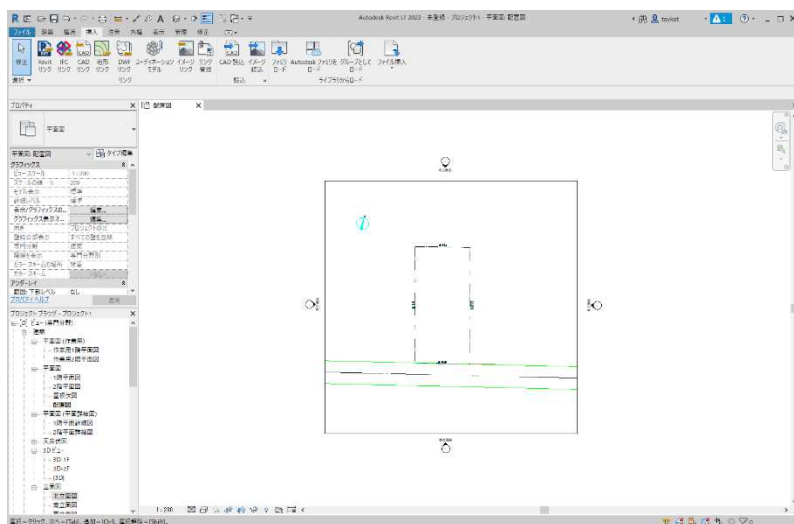


1.3.3. [CAD 読込]ダイアログで、配布ファイルにある[site.dwg]を選択し、[開く]をクリックする

- カラー：保持
- レイヤ/レベル：すべて
- 読み込み単位：ミリメートル
- 配置：自動 - 中心合わせ
- 配置先：設計 GL
- ビューで方向指定にチェック



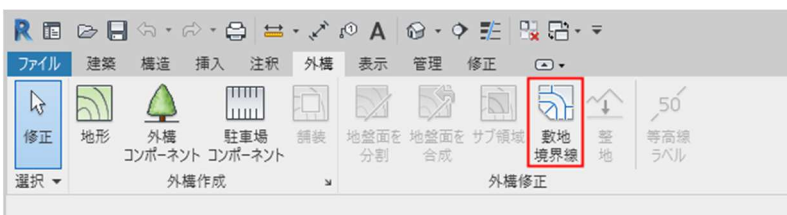
1.3.4. 敷地 CAD データが挿入されるのでビューの中央辺りでクリックして配置する



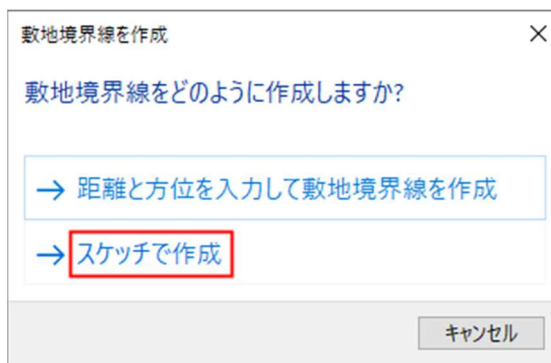
第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

1.3.5. 敷地境界線の作図

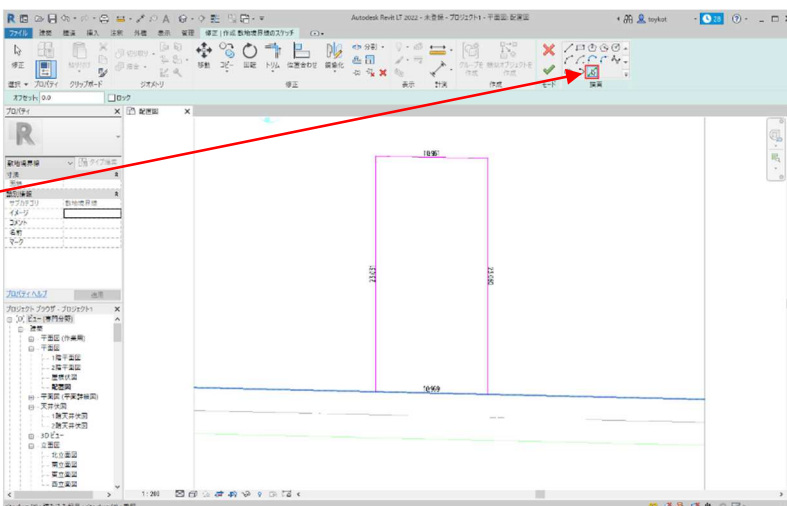
[外構]タブ-[外構修正]パネル-[敷地境界線]をクリックする
(レギュラー版では[マス&外構]タブ)



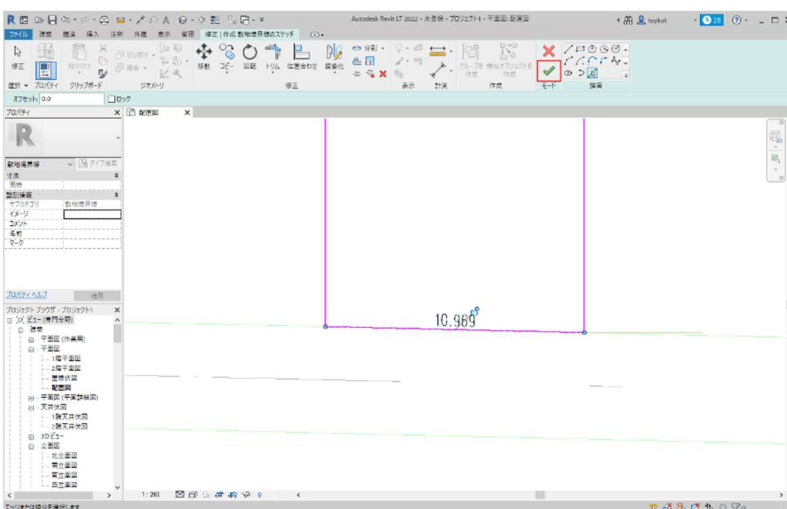
1.3.6. [敷地境界線を作成]ダイアログ[スケッチで作成]をクリックする



1.3.7. [描画]パネル-[選択]をクリックし、読み込んだCAD図の敷地ラインを選択する



1.3.8. 線が重なっているところは、線の上にカーソルを合わせ「Tab」キーを押すと前面/背面の選択を切り替えることができる (循環選択)

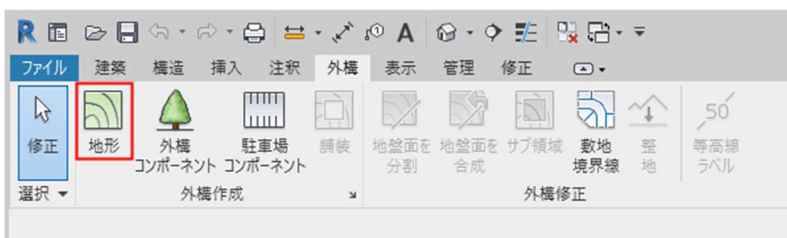


1.3.9. [モード]パネル-[編集モードを終了]をクリックすると敷地境界線が作成される

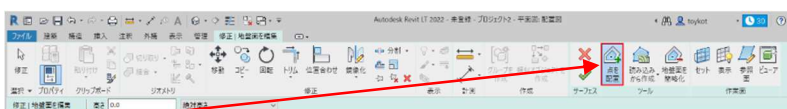
第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

1.4. 地形面の作成

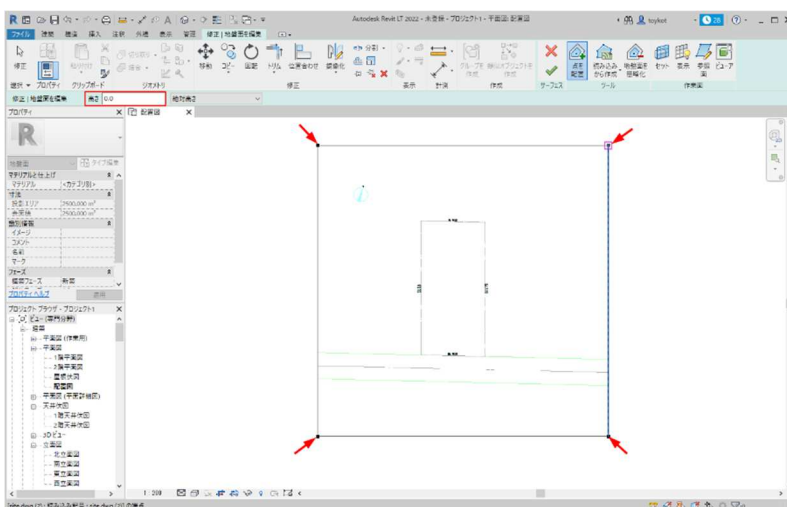
1.4.1. [外構]タブ-[外構作成]パネル-[地形]をクリックする



1.4.2. [修正]タブ-[ツール]パネル-[点を配置]をクリックする



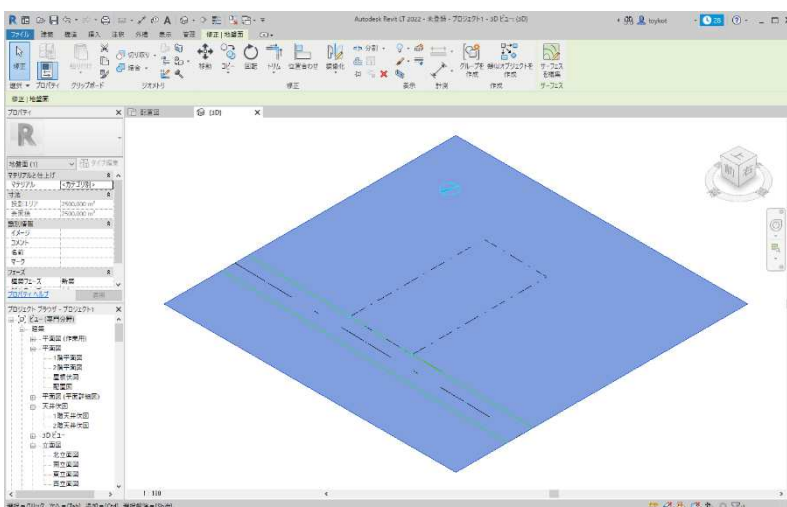
1.4.3. オプションバーで高さを設定し、点を配置する



1.4.4. 設定が終わったら[修正]タブ-[サーフェス]パネル-[終了]をクリックする



1.4.5. 地盤面が作成されました



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

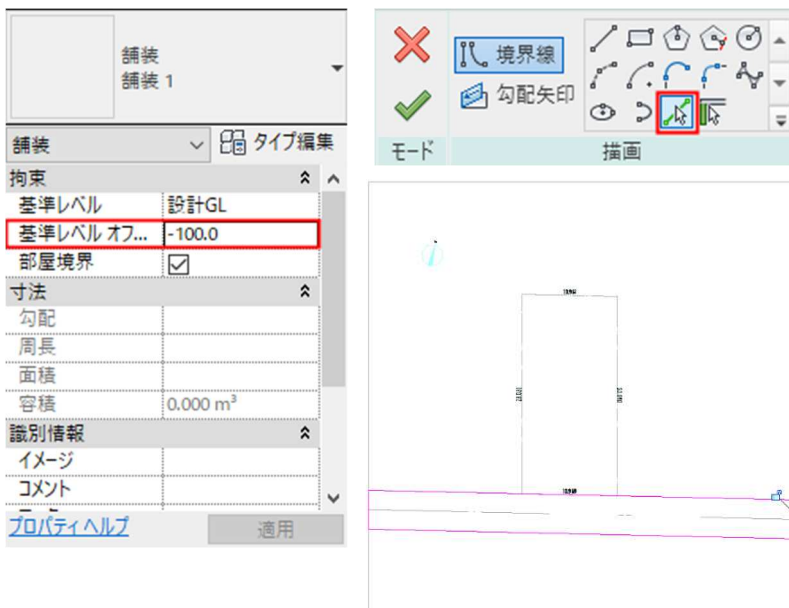
1.5. 道路の作図

1.5.1. プロジェクトブラウザ[建築/平面図/配置図]ビューに切り替える

1.5.2. [外構]タブ-[外構作成]パネル-[舗装]を選択



1.5.3. プロパティパレットから「舗装 1」を選択し、「基準レベルオフセット」を「-100」に設定

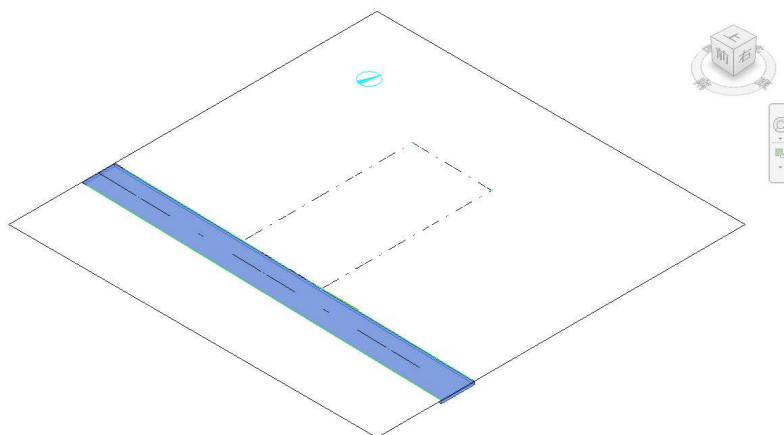


1.5.4. [描画]パネル-[選択]で敷地 CAD データの道路ラインを選択

1.5.5. [モード]パネル-[編集モードを終了]をクリック



1.5.6. 道路が作成される



1.6. 位置と真北の設定

1.6.1. 建設位置を指定する

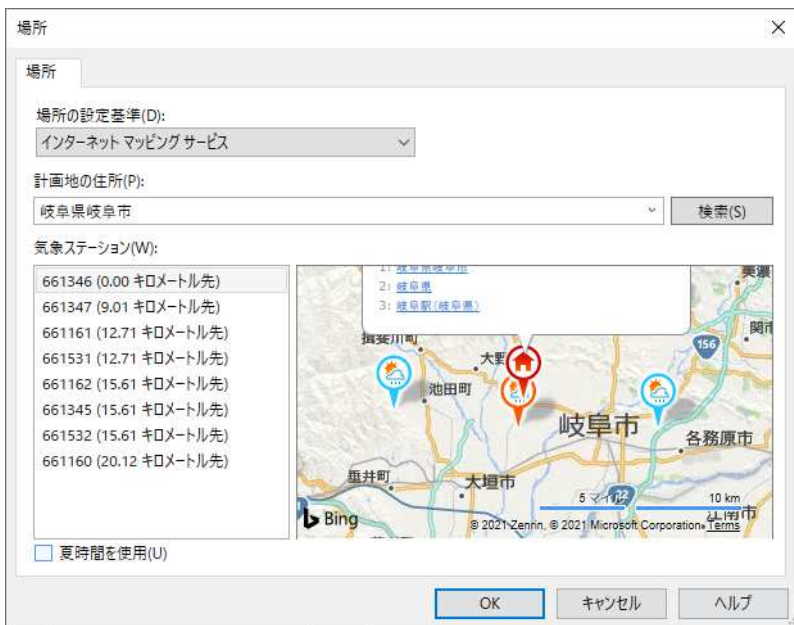
[管理]タブ-[プロジェクトの位置]パネル-[場所]をクリック



1.6.2. 「場所」ダイアログが表示される

[場所]タブ-[場所の設定基準]を「インターネットマッピングサービス」とし「計画地の住所」を「岐阜県岐阜市」に設定し「検索」ボタンをクリック

OK ボタンをクリック

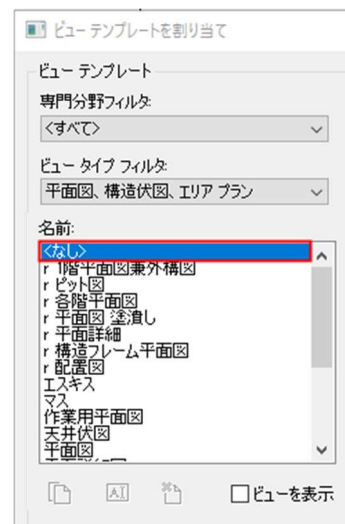
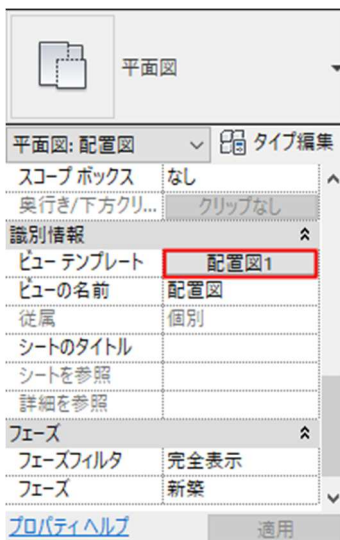


1.6.3. 方位の設定

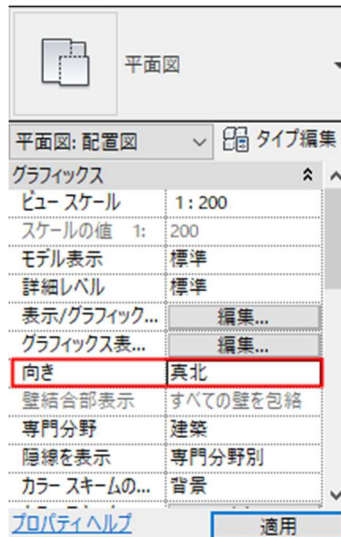
プロパティパレットの「識別情報/ビューテンプレート/配置図 1」をクリック

「ビューテンプレートを割り当て」ダイアログで「ビューテンプレート/名前: 配置図 1」を「なし」に変更

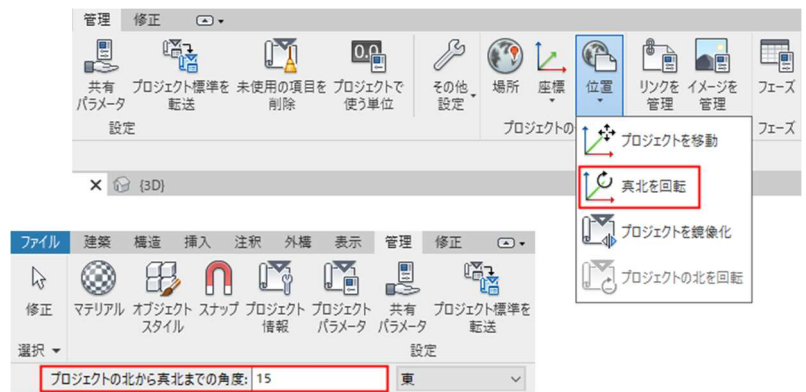
OK ボタンをクリック



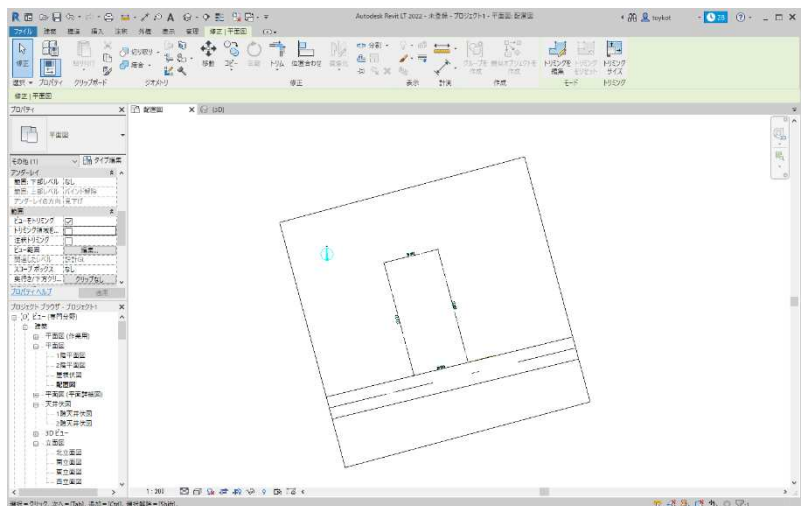
1.6.4. プロパティパレットの「グラフィックス/向き」を「真北」に変更



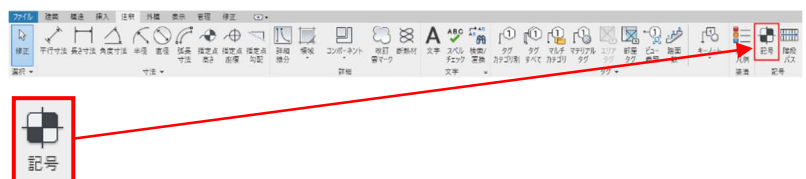
1.6.5. [管理]タブ-[プロジェクトの位置]パネル-[位置/真北を回転]を選択
オプションバー「プロジェクトから真北までの角度」に「15度」に設定し Enter



右図のように表示されます

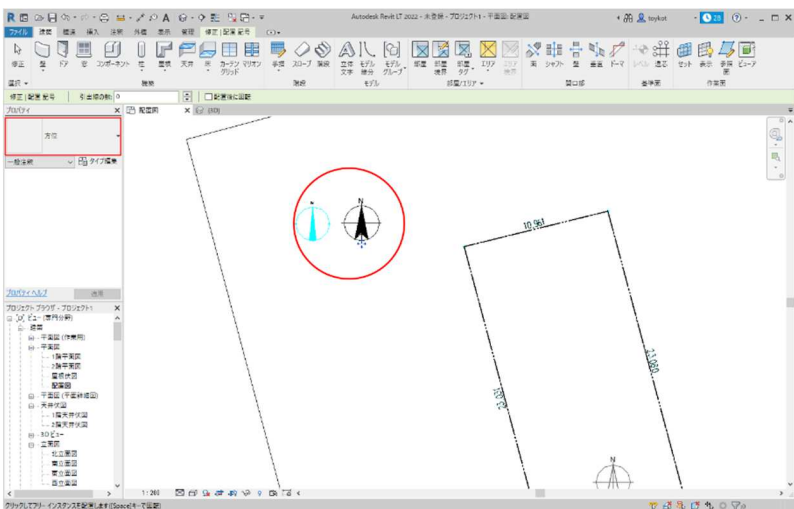


1.6.6. [注釈]タブ-[記号]パネル-[記号]を選択

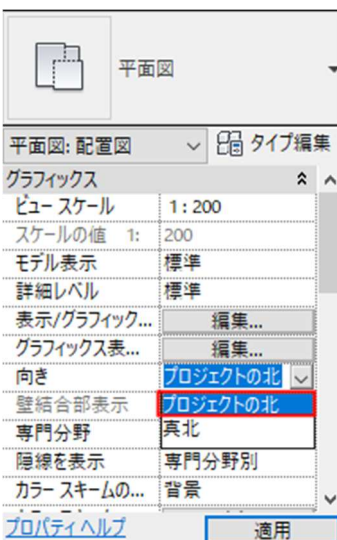


第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複写、配布することは禁止されています

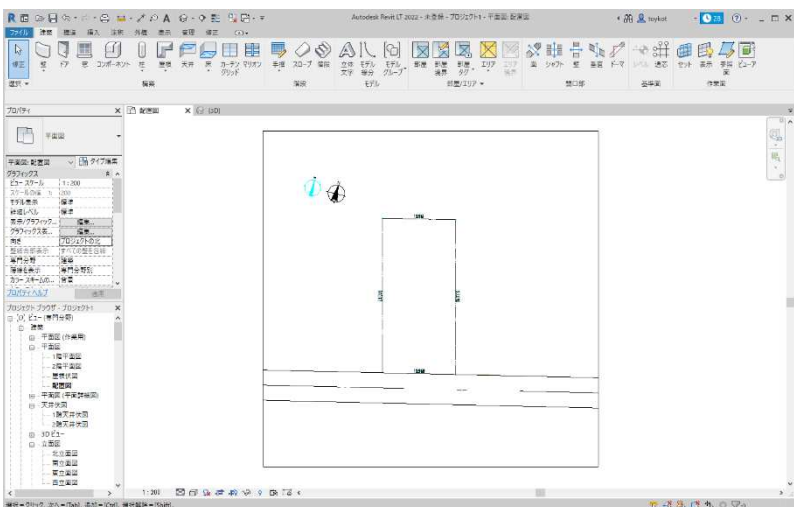
1.6.7. プロパティパレット「方位」タイプを選択し、任意の位置に配置する



1.6.8. [建築]タブ-[選択]パネル-[修正]を選択し、プロパティパレット「グラフィックス/向き」を「プロジェクトの北」に変更



1.6.9. 右図のように表示されます



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています